

VICTORY

令和元年 10月25日

翠ヶ丘野球部



| 月 | 日 | 曜日 | 場所 | 時間 | サポート係 | 救急 | 試合等の予定 |
|----|----|----|----|-------------|-------|----|-------------------------|
| 11 | 2 | 土 | 2B | 12:00~16:00 | 眞田 | 杉田 | |
| | 3 | 日 | 1B | 9:00~12:00 | 森井 | 船脊 | 教育リーグ |
| | 4 | 月 | 1A | 9:00~12:00 | 白川 | 原口 | ↓ |
| | 9 | 土 | 1B | 9:00~12:00 | 清水 | 豊岡 | |
| | 10 | 日 | 2A | 12:00~16:00 | 高橋 | 船脊 | |
| | 16 | 土 | 2A | 12:00~16:00 | 三浦 | 杉田 | 座間シニア杯決勝トーナメント@相模川グラウンド |
| | 17 | 日 | 2B | 12:00~16:00 | 赤池 | 原口 | ↓ |
| | 23 | 土 | 1B | 9:00~12:00 | 野上 | 豊岡 | 明治大学野球教室@深堀 |
| | 24 | 日 | 1A | 9:00~12:00 | 古屋 | 杉田 | |
| | 30 | 土 | 2B | 12:00~16:00 | 荒川 | 末吉 | 熟年対少年野球大会@深堀 |
| 12 | 1 | 日 | 2A | 12:00~16:00 | 小峰 | 船脊 | 木戸会野球教室@サーティフォー |
| | 7 | 土 | 1B | 9:00~12:00 | 由良 | 役員 | 土曜参観日 NEXT杯@昭和橋(6年生) |
| | 8 | 日 | 1B | 9:00~12:00 | 役員 | | 第35回駅伝大会 |

お当番を変更された方は、役員の豊岡に連絡をしてください
サポート係の方は、ポットの中にお湯を用意してください

田野倉杯 南部地区予選(4年以下)

1回戦 9/28 翠ヶ丘 0-19 相武台スウィッカーズ

第65回市民選手権大会 結果

Best 8

準決勝 9/29 翠ヶ丘 0-10 相武台レッドジャガーズ

第13回相模原市南区長杯争奪兼第102回南部少年野球秋季大会 結果

1回戦 10/5 翠ヶ丘 3-6 大沼レッズ



☆役員より☆

- 「島原手延うどん、そば、ちゃんぽんのご案内」を12月の集金袋と一緒に配布致します。収益金は部の活動費に充てさせていただきます。たくさんのご注文をお待ちしております！
- 朝晩の気温差が激しくなっております。長袖の着替えや防寒着の準備もお忘れなくお願い致します。

保護者の皆様には、日頃より部の活動にご理解とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。つい先日まで暑い日が続いておりましたが、ここにきて一気に秋がやってきましたね。さて、10月度の victory の後、翠ヶ丘野球部としては、大会の山場を迎えました。

まずは低学年大会。一日順延して、まさかの「ひばり球場」での戦いとなりました。市大会に出場できれば翠ヶ丘としては初の快挙となりましたが、序盤からミスも続き、厳しい戦いとなりました。1個のアウトを取る難しさ、1個のミスが流れを変える怖さ、そしてひばり球場を体験できたこと、4年生以下には、すべてが勉強になったことと思います。この経験を次に繋げられれば、必ずや強いチームになると確信しております。頑張れ、ポニーズ！！

そして、市大会準々決勝の「相武台レッドジャガース」戦。こちらも歴史を変えたいと、王者に挑んだ試合となりましたが、さすが神奈川県3位のチーム。自分たちの野球を全くさせてもらえないまま、0-10、3回コールド、そして完全試合のおまけつきで、言い訳のできないくらいに圧倒され敗退してしまいました。決して大振りをせず逆方向に強い打球が打てる打線、次の塁をしっかりとねらう走塁、投手の制球力、堅い守備力、すべてが勉強になりました。負けてはしまいましたが、相模原市82チームのベスト8まで勝ち残れたことは、誇らしい結果だと思えます。本当に強く、逞しく成長してくれました。

市大会で負けた翌週に、6年生最後の公式戦。南区大会の1回戦がありました。「大沼レッズ」との対戦です。市大会でもベスト16に入っており、不気味なチームではありました。負けた翌週ということもあり、気持ちの持って行き方がとても難しく、序盤を何とか凌いでくれればと願い、先発に主将海翔をもっていきました。しかし序盤から制球に苦しみ、初回から4点を追う展開へ。次の攻撃で海翔のホームランで1点を返すも、次の回にも2失点をして1-6。5番愛斗のソロホームランが飛び出し、2-6と追い上げムードになり、沙羽が粘りのピッチングを見せ追加点は許しませんが、その後得点が奪えず最終回へ。「最後まであきらめない」翠ヶ丘の真骨頂。反撃が始まります。沙羽の二塁打と愛斗のヒットで1点を返し、さらに幸太郎のレフト前ヒットで繋ぎ、ノーアウト1・2塁。6年生が執念で繋いで、ここから5年生の登場。新チーム当初は、頼りない5年生でしたが、夏場の練習も一生懸命についてきてくれて、5年生6名全員がすごく成長してくれました。思いを5年生に託し、バッター桜太。抜けた！！と思った当たりも、無情にもセカンドライナーのゲッツー。最後のバッターも、セカンドゴロに終わり、3-6で6年生の公式戦が終わりました。試合終了後に流した6年生の涙を、来年度以降に生かしてもらいたいと思えます。振り解れば、春先は勝ちに恵まれず、本当に苦しい戦いが続きました。何とか勝ち癖をつけさせたく、夏場にかけてたくさんの練習試合・ローカル大会で実践を積み、一気に成長してくれました。最後の南区大会は残念な結果となりましたが、試合をするたびに成長する姿を間近で見ることができ、本当に夢を与えてくれました。子供たちに、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。みんな、ありがとう！！

まだまだ活動は続いていきます。本当の勝負はこれからかもしれませんね……。私も、残されたヶ丘生活を思いっきり満喫したいと思います！引き続き、宜しくお願いします。